

昭和六 2967

ト要取レシムニ對シ工場主ハ亦第一第三項ハ絶対拒絶ノ
志ヲ汲シ第二項ハ即答ヲ待テ今日午前中四答ヲ為スニトシテ
シ九時三十分退出セリ

13) 十五日午前十時阪前田令標労資合見シ要取ニ對スル回答ヲ亦
タルニ工場主ハ強硬ニ之ヲ拒絶セリ

六 職工側

職工側ニ於テハ強軟両派ニ分レ強派ノ朝永鐘外三名ハ工場主
ニ好意ヲ持ツテ寛厚外二名ヲ解雇シ強派ニ依ツテ工場内及
抗勢力ヲ扶植スヘシ對策ニ慮心中ナリ

八 工場主側

職工側ノ高亦中ノ大割合ハ強派ノ難キヲ以テ一部職工ヲ解雇
シ他ノ強留職工ハ皆前通りノ賃金ヲ以テ使用スル意嚮ヲ有シ
若シ職工側ニ於テ強硬ナル態度ヲ出スル場合ハ工場所領全員
解雇ヲ以テ臨テ可シ態度極メテ強硬ナリ
不及中(通)紙付也

昭和六年八月三十一日

警視總監 高橋守雄

内務大臣 安達謙藏殿
社會局長 官殿

極東ペン先工場争議解決ニ関スル件

要旨一(一)ニシテ勞資合見結果

1) 若シ解雇争議十月・四重撥答名對スル標案中内七名を強派解決カ

標記工場ニ於ケル争議内請解決セルノ状況左記ノ通リ

一 勞資合見並ニ解決條件

二十四日午前十一時頃職工代表朝永鐘外三名ハ工場主ヲ訪問

シ解雇手當並ニ休業手當一週シ左記要求ヲ為シ